

<株式会社エフエム東京 第 451 回放送番組審議会>

1. 開催年月日：平成 30 年 9 月 4 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（5 名）

横 森 美 奈 子 委員長	渡 辺 貞 夫 委員
内 館 牧 子 委員	秋 元 康 委員
川 上 未 映 子 委員	

◇欠席委員（1 名）

ロバート キャンベル 委員

◇社側出席者（11 名）

富木田 代表取締役会長  
千 代 代表取締役社長  
平 専務取締役  
吉 田 常務取締役  
村 上 常務取締役営業局長  
西 川 常勤監査役  
森 田 執行役員編成制作局長  
兼 株式会社グランド・ロック代表取締役社長  
延 江 営業局エグゼクティブ・プランナー  
宮 野 編成制作局編成部長  
若 杉 編成制作局制作部長  
増 山 編成制作局制作部プロデューサー

◇社側欠席者（0 名）

【事務担当 森田放送番組審議会事務局長】

4. 議題： 番組試聴（約 35 分）

『村上 RADIO』

2018 年 8 月 5 日（日） 19:00～19:55 全国 38 局ネット

〈議事内容〉

議題 1:最近の活動について

■2018 年 8 月度 聴取率調査結果について

2018 年 8 月度の首都圏ラジオ合同聴取率調査結果が、ビデオリサーチより発表されました。（調査対象期間：2018 年 7 月 30 日～8 月 5 日）

当社コアターゲット M1F1 層（男女 20～34 歳）の全日平均において、今回は前回 6 月度首位だったスコアが下降する結果となり、在京第 2 位となりました。その要因として、これまで一定のスコアを獲得できていた主要ワイド番組群の平日デイトタイム帯（9 時～18 時）が、今回 M1F1、並びに 20 代、30 代でも下降しており、全体の聴取率低下に影響を及ぼしました。

この結果を踏まえ出演者・制作者一同、ゼロスタートの気概で番組の在り方を総点検し、あらためてリスナー第一主義に立ち返り、ターゲット層の心に響く番組演出や話題の選定、選曲の向上に向けて、全力でターゲット層レーティング奪還の対策を講じてまいります。

なお、事前の報道発表などで大きな話題となった作家・村上春樹氏メディア初出演の特別番組『村上 RADIO』は、調査週の 8 月 5 日（日）に放送。12-69 歳区分で同時間帯の聴取率は他局を圧倒するスコアを獲得し、リスナーの高い関心度を証明する結果となりました。

■平成 30 年「民間放送連盟賞」当社 2 番組が東京地区代表に入選

平成 30 年「民間放送連盟賞」の東京地区審査が 7 月に行われ、TOKYO FM エントリー番組では、【教養番組部門】で『鳴門第九アジア初演 100 周年記念企画 歓喜の歌が響く街～第九の里・徳島県鳴門市の軌跡』と、【エンターテインメント番組部門】で『Jet Stream 50th Anniversary Special』が高い評価を受け、当社 2 作品が東京地区代表に選ばれました。

代表作品は中央審査に進み、全国 7 ブロックから最優秀作品が決まります。グランプリの発表は 11 月 7 日開催の民間放送全国大会で発表されます。

■TOKYO FM | Ginza Sony Park Studio オープン

TOKYO FM では、8 月 9 日（木）に銀座数寄屋橋交差点に開園した「Ginza Sony Park」内に、トレーラーハウス（エアストリーム）を改造したサテライトスタジオ「TOKYO FM | Ginza Sony Park Studio」をオープンしました。

開園日である 8 月 9 日（木）は、特別番組『Tokyo Where?』（13 時～16 時 50）を生放送。8 月 10 日（金）からは新番組『TOKYO SOUNDS GOOD supported by Ginza Sony Park』（14 時～16 時 55）がスタート。さらに、午後の生ワイド番組『シンクロのシティ』（月～木 15 時～16 時 50）が 8 月 13 日（月）より Sony Park Studio から生放送を実施しています。

新番組『TOKYO SOUNDS GOOD supported by Ginza Sony Park』は、注目のラッパー KEN THE 390 がパーソナリティをつとめ、アシスタントには、話題のガールズバンド CHAI のミュージックビデオなどを手がける注目のアート集団「チーム未完成」の砂糖シヲリが務めます。選曲のテーマは「1964-2020 TOKYO SOUND」。世界都市東京のサウンズグッド＝“いい感じ”な音楽やアートの「今」をお届けしていきます。



▲ 新番組を担当する KEN THE390 (左) 砂糖シヲリ (右)



TOKYO  
SOUNDS  
GOOD  
14:00-16:55 EVERY FRIDAY  
supported by Ginza Sony Park

## ■木村拓哉新番組『FLOW』8月スタート

木村拓哉がパーソナリティをつとめる新レギュラー番組『木村拓哉 FLOW supported by GYAO!』（毎週日曜 11 時 30 分～11 時 55 分 全国 38 局ネット）が、8 月 5 日(日)に初回がスタートしました。木村拓哉が 22 年間続けてきたレギュラー番組『木村拓哉の What's UP SMAP』を終了し、放送日時も変更、毎週日曜午前 11 時 30 分から装いも新たに始動しました。木村拓哉人生初のゲスト対談をメイン企画に据え、木村氏と親交のある様々なゲストを迎え、お互いの内に秘めた魅力や意外性に迫ります。番組タイトルにもなっている、「FLOW」とは、木村拓哉が愛してやまないサーフィンにまつわる単語で



▲木村拓哉氏と明石家さんま氏

「しなやかに波に乗る」ことを意味します。記念すべき初回のゲストは木村拓哉と公私共に親交の深い明石家さんま。今後のマンスリーゲストは、9 月は嵐の二宮和也、10 月にはマツコ・デラックスを予定しており、日曜の午前中を盛り上げてまいります。

## ■『未確認フェスティバル 2018』開催



10 代向けワイド番組『SCHOOL OF LOCK!』では、10 代アーティスト限定のフェス『未確認フェスティバル 2018』を、8 月 26 日(日)新木場 STUDIO COAST にて開催いたしました。『未確認フェスティバル』とは、音楽に夢を馳せる 10 代のアマチュアアーティストたちが、バンド、シンガーソングライター、ラッパー等、形式は一切問わず、その“未完の才能”を武器に、「夏フェス」の出場をかけ、しのぎ削る、所謂“音楽の甲子園”です。このフェスティバルから既に何組もの人気アーティストが輩出されています。

会場の新木場 STUDIO COAST には、のべ 4,100 人のリスナーが来場。応募総数 3,067 組の中から、デモ審査・ネット審査・ライブ審査を勝ち上がった 8 組の 10 代アーティストがファイナルステージに挑み



ました。応援ガールには注目の 10 代女優・高橋ひかる（16 歳）。ライブゲストは春に武道館公演も開催し、若者から絶大な人気を誇る 3 ピースバンド My Hair is Bad。未確認フェスティバルの前身イベント閃光ライオットに出場経験のある My Hair is Bad は、当時の想いをステージから 10 代に向け語りました。

審査の結果、グランプリは、東京都・平均年齢 17 歳の男女混成 4 ピースバンド「マッシュとアネモネ」が受賞いたしました。



▲グランプリ発表「マッシュとアネモネ」



▲応援ガール高橋ひかるによる開会宣言



▲ゲストライブ My Hair is Bad



▲グランプリバンド マッシュとアネモネ



◀準グランプリ ステレオガール



▲審査員特別賞 論吉佳作/men

**【委員の意見および社側説明】**

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○聴取率についてだが、この数字は表記の 1 週間のみの数字ということか。

■その期間の数字だ。通常、聴取率調査というのは、偶数月の 2~3 週目に設定されているが、今回は 7 月末~8 月頭にかけての通常と異なる期間設定になった。この週の実施は初かと思う。これは、甲子園やお盆など、リスナーの生活習慣が日常ではなくなる期間を避けての設定でもある。

○特に若い層での数字の変動があったようだが、この週にはなにか世間的、社会的に特別なことが起きていたのだろうか？ラジオを聞いている場合ではなかったような要因があったのだろうか。

■この期間に特に災害などの大きな事象は起きていない。聴取率調査期間の最終日にあたる日曜日に甲子園が開幕した。甲子園とは被らせないという慣習がある。また、お盆も人々の行動習慣が変わるため、この週に至っては、日常に近い期間と考えている。

○それなら冷静なデータということだ。主要なワイド番組に不安な要素があるのではないか。

■朝から夕方までのワイド番組が、これまでは弊社主要ターゲット (F1M1) からは数字がとれていたが、今回は J-WAVE に差を付けられる形になってしまった。本当に必要とされる情報を、生放送というリアルタイムに即した形でお届けできているのか、聴取率週間というものの捉え方も含めて、総点検する必要があると認識している。

## 議題 2 : 番組試聴

【番組名】 『村上 RADIO』

【放送日時】 2018年8月5日（日） 19:00～19:55 全国38局ネット

### 【番組概要】

本日ご試聴いただくのは、8月5日（日）に放送した、作家・村上春樹氏がラジオ DJ をつとめた『村上 RADIO (むらかみ れでいお)』のダイジェストです。村上春樹氏がメディア初出演ということもあり、報道発表直後から国内外のメディアより多数の多くの問い合わせが相次ぎ放送前から非常に高い関心をお寄せ頂きました。

この番組のテーマは「RUN&SONGS」。音楽のように小説を書き、また、「下半身が安定しないと文章が書けない」と言う村上春樹氏にとって、音楽と走るとは小説を執筆するためになくてはならない要素となっています。番組では村上春樹氏が、ランニングするときに持参しているという iPod や CD、レコードをスタジオに持ち込み、その曲について、また「走ること」について、「音楽」や「文学」について、自身の言葉で語り、さらにリスナーからのメッセージを紹介しました。

radiko では、19時から19時30分までが33.7%、19時30分から19時59分までで39.8%と、ラジオ同時時間帯で圧倒的シェアを記録、放送中に radiko を利用していた人のうち3人に1人が聴いていたことがわかりました。

また、10月21日（日）には第二弾の放送も決定いたしました。選曲テーマは「秋の夜長は村上ソングズで」を予定しています。



▲村上春樹氏

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○素晴らしい内容だった。TOKYO FM が村上春樹という人物を番組に出演させたということが、素晴らしいことである。今、ラジオに一番欠けている”聴くキッカケ”を作ったということ。これは最高。実際に番組を聴いて、ここにヒントがあると感じた。それは、どんなに喋りの上手い人が喋るのよりも、その人の人間性が出ている話を聴く方が遥かに面白いということ。聴く人それぞれに村上春樹氏のイメージがあったと思う。それは、本を読んで持ったイメージだったり、インタビュー記事を読んだイメージだったり。もしくは、何となくすごい作家だということは知っている、など。饒舌なトークを流暢に繰り広げた訳ではないのだが、素晴らしく胸に刺さって来た。最近のラジオには、喋りは流暢だが、とても軽い人が多くいる感じがしている。そういうものを求めている訳ではない。この番組では、ひとつひとつに、“人間としての村上春樹”が出ていて、どの話も興味深かった。ノーベル賞に近かった作家だからとかのネームバリューではなく、このような深い背景を持つ人の語りが面白かった。冒頭で聴取率の低下の話があったが、これだけ情報が氾濫する中で、本当に聴きたい話はなにか、それがカギになると思う。

○この番組、8月5日のオンエアでも聴かせていただいた。本当に面白かった。村上春樹氏とはこういうキャラクターだったのかと、今まで全く考えもしなかった一面が垣間見られた。もっと滑舌が悪く、気難しい喋りをする人だろうという勝手なイメージがあった。実際に聴いてみると、とても良い声をしていて、滑舌も良い。そしてユーモラスで、聴いていて吹き出してしまうようなエピソードもあり、また、自虐ネタの扱いも大変うまいと感じた。リスナーにとっては、村上春樹氏の音楽への深い造詣から、どんな選曲をするだろうか楽しみだったと思う。私もきっと選曲にはついていけないのではないかと思っていたが、マニアックな中でもどこかノスタルジックで、若い人にも刺激的だっただろうし、もっとオールディーズなファンにとってもいいものであっただろう。この番組を聴いたら、さらに村上春樹氏のファンになってしまうだろう。きっと番組を聴いてから小説が読みたくなる人もいると思う。

○村上春樹氏自身がとても気持ちよくやっているのが番組から伝わってきて、それもとても良かった。この状態に持って行ったスタッフたちに敬意を表する。第二弾、第三弾が決まったと聞いて、あまり驚かなかった。というのは、番組の最後で「また、どこかで」という言葉があり、これはお世辞では言わないだろうと思っていた。制作陣は、様々な期待からプレッシャーもすごいだろうが、



頑張っしてほしい。

○村上春樹氏と会ったことはないが、村上春樹氏が書いた音楽関連の書籍は全て読ませていただいた。大変面白かった。音楽の趣味が雑食というか、私ならイントロを聴いて退屈ならその音楽を聴くのを辞めてしまうが、番組を聴いて、村上春樹氏が音楽に対して好奇心旺盛なのが伝わって来た。

○小説を書くために下半身を鍛えているという話は、私も共感する。ジョギングする時の音楽という切り口だったので、次は逆に、部屋でリラックスをしているときに聴く音楽でセレクトしたのものも聴いてみたい。

○素晴らしい内容だった。人が本当に何かを好きな気持ちを言葉にするのはすごく大事なことだと感じた。今は SNS などで簡単に「いいね」ボタンが押せて、好き・嫌い・キレイ、ということがとても簡単にシェアされ、表面化してしまっていると感じることもある。村上春樹氏は変わった背景を持っている上に、40 年作品を書き続けている。そのような方が愛情をもって音楽を語るのを聴くことができたのはとても贅沢なことだと感じた。そのくらい充実した番組だった。これまでメディア露出もなかったもので、聴けたことを幸せに感じる。たった 1 時間でも人柄の伝わってくる内容であった。初出演でこのような番組に仕上げる、一緒に作り上げたスタッフも素晴らしい。ターンテーブルまで持ち込んだと聞いた。リスナーから求められているものを作った TOKYO FM は素晴らしい。感銘を受けた。

○私自身、村上春樹氏の書籍は殆ど読んだことがなく、ファンの人たちに比べて思い入れがないので、どこか粗さがしをしながら聴いたつもりだった。しかし、冒頭からずっと入ってきた。私のイメージの中では村上春樹氏はジャズ好きなイメージだったが、とても幅広い選曲で、それもすごく音楽をちゃんと聞いていらっしやる。走る時に聴く曲という選曲テーマも良く、すっかり番組に取り込まれてしまい素直に聴くことができた。

○ラジオにトークを求めるか、情報を求めるか、音楽を求めるかはそれぞれ違うと思うが、私は音楽を求めている。この番組は音楽番組の原点だと思った。今は、喋る人と、音楽を選んでいる人が違う。自分の想いを伝えながら、エピソードを織り交ぜながら、音楽を紹介していくのはリスナーにとってとても音のイメージネーションが広がり、同じ音楽と言え、聴こえ方も違ってくるのではないかと思う。聴いていて抵抗のないニュートラル、かつ新鮮な番組だった。もっとクサイ選曲になると思っていたのに、「いい線いってるな」と唸るような選曲ラインだった。小説を読みたくなった。

○インタビュアーの女性が緊張しているのが伝わって来た。

■今後もあるので、緊張を解いてのぞむ様にスタッフでサポートしてきたい。

■最初ご本人は、アシスタントが欲しいと言っていたのだが、制作陣がひとりDJにこだわった。何度も収録をしてのぞんだ番組だった。

■第二弾は秋の夜長に聴きたい曲をテーマにお届けする予定。今後も期待して欲しい。

6.議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送:番組「JOGLIS」

9月29日(土) 7:00~7:20 放送

② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp/>

7.その他

次回の放送番組審議会を、10月2日(火)に開催することを決めた。